受験生の方の声

Q 受験を通し何を学びましたか

・EPAについて具体的な内容（僅少や譲許表の見方等）について正確に理解していなかったので、実務的な面だけではなく、基礎のルールから知ることができました。

・EPAの書類を作成する際、必要な項目、なぜその項目が必要なのかが分かりました。漠然と上書きするのではなく、内容を理解して書類を作成することができるようになりました。

・日常業務では書類作成で手一杯で、原産性の判定計算式など深く学ぶことができませんでしたが、今回検定の為に勉強することでバラバラで曖昧になっていた知識を整理し、体系的に理解することができました。

Q この検定で得たものをどのように仕事に活かすことができますか

・通関業務に従事していますが、お客様から質問された際に、そのお客様にとって有利になる方法を選択し、EPA税率を適用できるように働きかけるなど、具体的な提案をすることに役立っています。また、通関業務では関税の原産地ポータルを参照する際にEPA検定の背景知識があると、とても読みやすいです。

・TPP11、日EU・EPAの発効からEPAのメディア露出が多くなり、社内での注目度が上がり、書籍・セミナー等学習の機会が増えましたが、その習熟度を測るものさしがありませんでした。EPA検定の資格を得たことで、習熟度を証明でき、EPA推進に説得力を持たせることができました。

検定試験実施概略

（1）年齢や国籍等は関係なく、どなたでも受験することができます。

（2）「EPAビジネス実務検定®」試験は３つの科目によって構成されています。
３つの科目及びB級・C級のレベルは以下の通りです。

〔Ⅰ〕	EPAに関する実務知識
〔Ⅱ〕	EPAに関する事例
〔Ⅲ〕	EPAに関する周辺知識

級	レ ベ ル
アドバンスト(B級)	基本・応用・実践的な知識 (業務の運用ができるレベル)
ベーシック(C級)	基本的事項 (定型業務ができるレベル)

（3）試験形式／試験時間
※Web試験実施の場合は、配点・試験時間を変更することがございます。
詳細は協会ホームページをご覧ください。

級	科 目	配 点			時間	レベル
アドバンスト（B級）	EPAに関する実務知識	正誤（○×）式 選択式 語群選択式 四答択一式	問題数不特定	150点	1時間30分	どなたでも受験できます。例えば、貿易実務検定C級以上の合格者の方。貿易実務における中堅層の方。EPA実務に従事している方等。
	EPAに関する周辺知識	正誤（○×）式 選択式 語群選択式 四答択一式		50点		
	EPAに関する事例	全て三答択一式		100点	1時間	
ベーシック（C級）	EPAに関する実務知識 EPAに関する実例	正誤（○×）式 選択式 語群選択式 三答択一式	10題(30点) 15題(45点) 10題(30点) 15題(45点)	150点	1時間	どなたでも受験できます。 これからEPA実務に携わる方、EPA実務に携わって間もない方等。
	EPAに関する周辺知識	語群選択式 三答択一式 三答択一式	10題(20点) 10題(20点) 2題(10点)	50点	30分	

（4）受験料は下記の通りとなります。

受 験 料	
ベーシック（C級）	6,600円(税込)
アドバンスト（B級）	7,700円(税込)

※10名以上の団体受験の場合には、受験料が割引になります。

（5）受験申込はWEBサイトでどうぞ。

EPAビジネス実務検定®
〒163-0825
東京都新宿区西新宿 2-4-1
新宿NSビル25階
株式会社マウンハーフジャパン内
日本貿易実務検定協会®
(Tel) 03-6279-4730 (Fax) 03-6279-4190
(E-mail) epakentei@mhjcom.jp

URL https://www.epakentei.jp/

経済連携協定 (EPA検定®)

EPAビジネス実務検定®

The proficiency Test in EPA Business Skills

2020年よりEPAビジネス実務検定®が開始されました

2022年 スケジュール

第2回 アドバンスト(B級) 12月18日(日)
第7回 ベーシック(C級) 12月18日(日)
2023年4月 第8回 ベーシック(C級) 開催予定

主催：日本貿易実務検定協会®

EPAビジネス実務検定®
実施にあたって

2020年2月より「EPAビジネス実務検定®」が開始されました。

EPAといっても経済ニュースの中の話というレベルでは、知っていても、それを活用して行くというところまでは、なかなか行われていません。たとえ貿易実務経験者であっても実際に社内で活動していくことが難しいのが現状です。これは、正しい基本的なEPAの知識が浸透していないことがその原因としてあげられます。

一方、先ほど述べましたように現在、アジアやEUとの間で実際にメガEPAが動き出し、また、近い将来EPA全盛期が到来します。そして、その時、有利な貿易取引、サプライチェーン、間接税対策をどのように行っていくのかといった戦略を立てるための知識が必要になります。

これは、貿易取引実務を行う方々にとっても、切り離せない重要な知識になります。

今回、われわれ日本貿易実務検定協会®はこれまでの20年以上の経験を活かし、貿易実務検定®と並び「EPAビジネス実務検定®（略:EPA検定®）」を新たに実施することにいたしました。

これにより、EPAの実践知識、EPAを実際に利用した戦略立案が効率的に学べ、かつスキルアップにお役立ていただけるものと確信しています。

EPAに興味をお持ちの方、EPA関連業務、商社関連、運輸倉庫関連、金融関連、通関業関連、士業・コンサルタント関連などに携わっている方などなど、ぜひ「EPAビジネス実務検定®」にチャレンジしていただきたいと思います。

また、これまでに貿易実務検定に合格された方、通関士試験に合格された方も、さらなるスキルアップを図るためにチャレンジしていただきたいと思います。

日本貿易実務検定協会®
理事長　片山立志

EPAビジネスの未来

シンガポール協定を皮切りに、日本と二国間のEPA(経済連携)が結ばれてきましたが、TPP11(CPTPP:環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)、日EU・EPAさらにはRCEPが発効され、いわゆるメガEPA時代の幕が開けました。

日本の貿易総額に占めるEPA発効済国との貿易割合であるEPAカバー率は、メガEPAの出現により年々上昇しています。

今後、EPAのカバー率は80%にまで上がり、これまで経験したことのないEPA全盛期が到来します。このような貿易環境の中、貿易を含む国際取引においてEPAの実務知識は、より有利な取引やサプライチェーンを構築するために必須のものになります。

日本のEPAの状況（2022年4月現在）

EPA発効済

TPP11協定（CPTPP:環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）：カナダ、オーストラリア、シンガポール、チリ、日本、ニュージーランド、ブルネイ、ベトナム、ペルー、マレーシア、メキシコの11か国が加盟

RCEP（地域的な包括的経済連携協定）：ASEAN10か国及び日本、韓国、中国、オーストラリア、ニュージーランドの15か国が加盟

試験概要

出題範囲

出題の範囲は、以下の通りです。

範囲	内　容
〔Ⅰ〕EPAに関する実務知識	（1）EPAと国際貿易体制
	①EPAと時事
	②GATTとWTO
	③世界の地域協定とメガEPA
	（2）EPA活用のための基本ルール
	①EPA活用のためのプロセス
	②譲許表の理解
	③原産地規則
	④積送基準
	⑤現産性の証明（原産地手続）
	（3）EPA活用のための関連知識
	①EPA活用の意義
	②グローバルサプライチェーンの最適化
	③グローバルロジスティック上の課題
〔Ⅱ〕EPAに関する事例	（1）品目分類の基本
	（2）譲許表分類
	（3）産品の判定
	（4）原産品申告書の作成
	（5）対比表等の作成に関する事例
	（6）グローバルサプライチェーン手法に関する事例
〔Ⅲ〕EPAに関する周辺知識	（1）通関実務
	①輸出入通関
	②AEO制度
	（2）関税実務
	①関税評価
	②関税率
	③HSコードと品目分類の解釈
	（3）物流に関する知識
	①海上輸送
	②航空輸送
	③グローバルロジステスク

これらの項目についてベーシック（C級）は基本的事項が出題され、
アドバンスト（B級）は基本・応用・実践的な知識が出題されます。

試験形式

新型コロナウィルス（COVID-19）感染拡大防止の観点からWeb試験の方法により実施しております。
通信環境のある全国各地で受験していただくことができます。
受験に要する通信環境及びディバイスは各自でご用意ください。

団体受験申込

- 学校等の教育機関・各種法人・企業等の団体は、所属する学生・受講生・社員の方を取りまとめ、一括して受験申し込みをすることができます。
- 団体受験の場合も受験者個々人に受験アカウントを発行し、web試験の方式により受験していただきます。
- 団体受験申込の場合、当協会から団体のご担当者様宛に受験票、及び合否結果をお送りいたしますので、成績等を把握でき、一括管理することができます。なお、団体受験の条件としまして、教育機関、各種法人、企業等の団体であり、原則として10名以上とさせていただきます。なお10名未満の場合でも一度当協会事務局までご相談ください。

テキスト／問題集

・EPAビジネス実務検定（EPA検定）受験の指針ベーシック版（C級）
・EPA実務アドバンストテキスト　【MHJ出版】